

梅坪台地域会議での協議内容・その他の意見

めざす姿

- ・日本人同士だけではなく、**外国人との「つながり」**も必要である。
- ・「つながり」については、IT も含めて考えるべきだと思う。特に、デジタル化についていけない高齢者に対する配慮がほしい。
- ・**若い世代と高齢者のつながりを重視**したものにしてほしい。

まちづくりの基本的な考え方

- ・もともと地域資源がなく、**全方位へのサービスが難しい地域では、割り切った考え**が必要。
- ・公共施設の老朽化が進んでいる中で、新たな施設を作るのではなく、**スクラップアンドビルドの意識**で取り組んでほしい。
- ・教員の負担軽減・「地域」の人材を生かすという観点から、部活動の地域移行が進められているが、体制が十分ではない。教育委員会を所管している地方自治体において新しい学びの場を提供できるような仕組みを作る必要がある。
- ・行政に依存しすぎるのではなく、**ある程度は住民たちで動きやすい仕組み**を作る必要がある。
- ・「変える」ことだけに注力するのではなく、「**考える**」ことが重要だと思う。
- ・「変える」という考え方について、「**変えるべきこと**」と「**変えるべきではないこと**」を見極める必要がある。
- ・様々な人が様々な考えを持っている社会の中で、**それぞれの立場を考慮した取組**を進めてほしい。
- ・地域を支える人が不足していると言われていたが、「人を見つける」のではなく、様々な場面において、「**人を育てる**」という意識を持つべきである。
- ・「少子化」とよく言われており、そこに対応が集中してしまっているが、「多死社会」という現状でもあるため、その現状に対しても、見落としがないように焦点を当ててほしい。
- ・ライフスタイルが変わってきた中で、既存の子ども会、高齢者クラブや自治区の形を変えていくべきである。

都市構造

- ・目先の発展のためだけの都市構造の構築ではなく、**10、20年先を見据えて検討**していく必要がある。
- ・拠点間の連携は重要であるが、特に災害時に連携が困難になった場合の対応策もぜひ検討してほしい。
- ・高齢者の社会参加促進のためにも「移動手段の確保」が重要であることから、解決策の一つとしてシェアリングエコノミー（ライドシェア）の考え方を盛り込むべきである。
- ・**「新しい住民のまちづくり意識の向上」と「具体的なまちづくり構想」を持って取組を進めていかなければ、「コミュニティ」は育っていかない**と感じる。
- ・昨今発生している災害は、「100年に1度」と言われているが、毎年災害が発生している。特に梅坪台地域は水害のリスクが高い。このことから、**災害に強い豊田市**を作ってほしい。
- ・近年空き家が問題となっている。この問題に対する方針を総合計画の中にしっかりと打ち出していくべきではないか。

ミライ実現戦略 2030 の方向性

- ・ぜひ「こども」中心の社会を推進してほしい。例えば、出産一時金を引き上げるなど、経済的な理由でこどもを諦めることのないような制度を作ってほしい。
- ・**こどもたちへの先行投資**の考えが必要である。教育を通して梅坪台地域を魅力ある街にし、誇りを持ってもらいたい。

その他の意見

- ・先進的な取組を行い、成功を収めている地域からノウハウを教わったりするなど、積極的に学び、取り入れる姿勢が必要である。
- ・豊田市にはオリンピック選手がいたり、今後アジア大会が行われたりするが、あまり「**スポーツシティ**」としての側面が総合計画では触れられていないのではないか。
- ・梅坪台地区は、駅周辺地域に「まちづくり憲章」があり、建築に高さ制限など様々な縛りがある。この縛りが人口増加を妨げる要因になっていると思われるため、「まちづくり憲章」を見直す必要があると思う。